



古くから宇陀は薬の産地として知られ、江戸時代、松山地区には数々の薬問屋が立ち並びました。森野旧薬園は現存する日本最古の私設薬草園で、江戸中期、享保14年（1729）に森野家当主、初代森野藤助、郭が開園しました。大正15年には国の史跡指定を受け、今も花木やカタクリなど250種類を保存栽培しています。

幕府の植村左平次が大和へ採薬に来たとき、賽郭が御薬草見習となり、同行した時の功績により、幕府から貴重な種苗を下付されたのを自宅の小山に植付けたのが薬草園の始まりとされています。

3月下旬から4月初旬にかけて、旧薬園では薄紫のカタクリの花が見頃を迎えます。このカタクリは地上に姿を現す期間はとても短く、その儚さから「春の妖精」と呼ばれています。

はにかむように下向きに咲き、日差しのない時は花卉を閉じてしまうその可憐な姿は本当に妖精のようなカタクリの花 ▶

今日の
Pick Up

宇陀市の代表として今年も激走！ ～県市町村対抗子ども駅伝大会（3月4日）～

【出場選手】

（順不同・敬称略）

※学校学年は大会当時

- 奥田楓花（榛原東 6）
- 萬谷雅久（大宇陀 6）
- 古谷日和（大宇陀 5）
- 内藤大智（榛原西 6）
- 井谷真花（榛原 6）
- 矢奥晴久（菟田野 6）
- 塚本真帆（榛原東 6）
- 村田幹透（榛原 5）
- 植松和音（榛原 5）
- 川上涼花（榛原東 5）
- 福田晃杜（榛原西 6）
- 山田陽穂（榛原東 5）



馬見丘陵公園を会場に行われた本大会。駅伝の部では36市町村の選手が8区間計13.834kmをたすきで繋ぎました。宇陀市からも5～6年生を対象に選手団を結成。約3ヶ月間にわたって厳しい練習を行ってきました。

結果は、19位。残念ながら代表に選ばれなかった選手たちも一生懸命応援してくれました。

この大会を通し、これまで各々努力し、苦しい時とともに乗り越えてきたみなさんから、がんばることの大変さと尊さ、大切さを教えていただきました。そして感動をいただきました。みなさんお疲れさまでした。

